

新潟県新潟市亀田町船戸山方言の立ち上げ詞

大橋 勝男

I. はじめに

1. 調査対象地： 船戸山は、新潟市の市庁舎の南東 10k mに位置し、蒲原平野の町部住宅街である。本来は米作、果樹栽培を中心とする農村地帯であったが、最近都心に近接の便利さから、住宅の増加が活発である。亀田町全域の世帯数は 11315、人口 33238。船戸山の世帯数は 511、人口 1516 である。
2. 調査年月日：2005 年 12 月 11 日 午後 1 時から 3 時 15 分まで
3. 話者： 内山豊年（昭和 7 年 4 月 25 日生）
4. 調査者・調査場所： 大橋勝男・内山豊年宅応接室
5. 調査方法：統一調査票による質問調査
6. その他：①アクセントは、棒引きアクセント。高さの山に棒を引く。
②話者のコメントは、<>内に記した。

II. 調査結果

I. 自己の自発的な行動を立ち上げるために、自己に向かって発信する「立ち上げ詞」

(1) どっこいしょ。一休みしよう。

○ドッコイショ。シトヤスミ ショッ カチー。どっこいしょ。一休みしようかなあ。

(2) どうれ。出かけることにしよう。

○ドーレ。ソ モバ デカケツ カ。どうれ。それでは出かけるか。

(3) よいこらしよ。とうとう山の天辺に着いた。

○ヨッコラショー。ヤット ヤマノ テッペンニ ツイタ ワ。よいこらしよ。やっと山のとっぺんに着いたわ。

(4) しまった。もうちょっとで落ちるところだった！

○シマッタ。モー チットバッカデ オチル トコロダッタ ワイ。しまった。もう少しばかりで落ちるところだったわい。／○アイヤ。モー チットバッカデ オチル トコロダッタ ワイ。あれえ。もう少しばかりで落ちるところだったわい。

(5) くわばらくわばら。恐ろしかった！

○ワイーヤ。オツワネカッタ ワイ。いやはや。おっかなかったわい。／○ワイーヤ。オツワネカッタ ザエ。いやはや。おっかなかったわい。

(6) しめた！今度の魚は大きいぞ。

○ヤヤ。コンダノ サカチワ デツカエ ゴー。やあ。今度の魚は、大きいぞう。

(7) ままよ。飛び越えるしかない。

○ドー ショバ チー。トビコエンカ ダメラロ カ。どうしようかなあ。飛び越えなければ駄目だろうか。

(8) なにくそ！負けてなるものか。

○ヨーシ。マーゲル モン カ。ようし。負けるものか。 / ○ドーラ。マケンゾー。どうよ。負けないぞう。

(9) しめしめ！誰も気がついていない。

○アー。ヨカッタ ウェ。ダレモ キガツイテ イネミテラ。ああ。良かったわい。誰も気がついていないみたいだ。

(10) ちえっ。つまらないなあ。

○チェ。ホンーネ オモッショ ーネー 子一。ちえ。本当におもしろくないなあ。

(11) ちくしょう！仕返しをしてやる。

○コン 子クショー。コンダ マケンゾー。こん畜生。今度は負けないぞう。

(12) くそっ！覚えている！

○ヨーシ。オボエテ イヤガレ。ようし。覚えていやがれ。

(13) おやおや、いったいどうしたの。

○オヤオヤ、子一 シタンダ 子一。おやおや、どうしたんだい。 / ○オココ、子一 シタンダ。おやおや、どうしたんだ。

(14) えへん、えへん。吾輩は村一番の力持ちじゃ。

○ドーラ、ドーラ。オラー ムライチバンノ チカラモチダ ゼネ。どうだ、どうだ。俺は村一番の力持ちだぜね。 / ○ドーレ、ドーレ。オラー ムライチバンノ チカラモチダ ゼネ。どうだい、どうだい。俺は村一番の力持ちだぜね。

(15) はてな、ここはどこだろう？

○オヤ、ココ ドゴラロ ーネー。おや、ここはどこだろうね。

II. 他者の発話に呼応して、応答の発話を立ち上げる「立ち上げ詞」

(16) はい、承知いたしました。

○ハイ、ヒキウケタ ワネー。はい、引き受けたわねえ。

(17) はい。宜しゅうございます。

○ハイ。ヒキウケタ ワネー。はい。引き受けたわねえ。 / ○ハイ。イー ワネー。はい。いいわね。 / ○ハイ。イー ゼネ。はい。いいぜね。

(18) ええ、ここに居ます。

○ハーイ。ココニ イタ ワネ。はあい。ここに居たわね。

(19) んだ。私の傘です。

○ンダ。オレノ カサダ。そうだ。俺の傘だ。 / ○ソラ。オレノ カサダ。そうだ。俺の傘だ。 / ○ソラ。オレノ ガンダ。そうだ。俺のものだ。

(20) さよう、さよう。あなたの言う通り。

○ンダ、ンダ。オメサンノ ユー トーリダ ワネ。そうだ、そうだ。あなたの言う

とおりだわね。

(21) ほうきた。おやすいご用です。

○ヨシキタ。イーゼネ。ジョーサネ。コンダ。よしきた。いいぜね。雑作ないことだ。

(22) よっしゃ。やりましょう。

○ヨーシ。ヤウワネー。ようし。やるわねえ。 / ○ヨーシ。ヤッカー。ようし。やるかあ。

(23) よしきた。お引き受けいたしましょう。

○ヨーシ。イーワネー。オレガヤッテヤルゼネ。ようし。いいわねえ。俺がやってやるぜね。 / ○ヨーシ。イーワネー。オレガヤウワネ。ようし。いいわねえ。俺がやるわね。

(24) がつてんだ。一緒に行きましょう。

○ソーラネー。イッショニイゴゼネ。そうだねえ。一緒に行こうぜね。 / ○ソーラネー。イッショニイダカネー。そうだねえ。一緒に行くかねえ。

(25) かつぱのへだ。簡単だ。

○ソングコトジョーサモネーワネ。そんなこと雑作もないわねえ。

(26) いえいえ、とんでもございません。

○イヤイヤ、ソングコトイワンデクンナセヤ。いやいや、そんなこと言わないでくださいや。

(27) なんの、たいしたことではございません。

○ナニネ。ソングコトジョーサモネーワネ。なにね。そんなこと雑作もないわね。 / ○ナニネ。ソングコトジョーサモネーガネ。なにね。そんなこと雑作もないがね。

(28) なあに、擦り傷ぐらい、すぐ治るさ。

○ナニネ。コングカスリキズグレスグナオウワネ。なにね。こんな擦り傷ぐらいすぐ治るわね。 / ○ハイネ。コングカスリキズグレスグナオウワネ。いいえね。こんな擦り傷ぐらいすぐ治るわね。

(29) なにさ、いつも調子の良いことばかり言って！

○ナーンダ。イツツモチョーシノイーコトバツワイツデー。なあんだ、いつも調子の良いことばかり言ってえ。

(30) いやはや、とんだ目に遭いました。

○ハイーヤ、エレーメニオータワネ。いやいや、えらいめに遭ったわね。 /

○イヤイヤ、エレーメニオータワネ。いやいや、えらいめに遭ったわね。 /

○イヤイヤ、エレーメニオータゼネ。いやいや、えらいめに遭ったぜね。 /

○イヤイヤ、エレーメニオータデヤ。いやいや、えらいめに遭ったぜや。 /

○イヤイヤ、エレーメニオータテ。いやいや、えらいめに遭ったよ。

(31)へん、勝手にしやがれ。

○フン。カッテ三 シヤガレ。ふん、勝手にしやがれ。

(32)なめるんじゃねえよ。こいつ！

○ナメヤガンナ。コノ ヤロー。なめやがるな。この野郎。

(33)冗談じゃない。口から出任せを言って！

○ジョーダンジャ ネー ワネ。クチカラ デマカセバッカ ユーテ。冗談じゃないわね。口から出任せばかり言って。 / ○ナーニ イッテ ヤガンダ。チョーシノ イー コトバカ ユーテ。何を言ってやがるんだ。調子の良いことばかり言って。

(34)だまらっしゃい。出鱈目ばかり言って！

○ダマツテ エレ ヤ。エッツモ デタラメバッカ ユーテ。黙っているや。いつも出鱈目ばかり言って。 / ○ダマツテ エレ ヤ。テンポバッカ ユーテ。ナーニ ユーテンダ。黙っているや。嘘ばかり言って。何を言ってるんだ。

(35)そうは問屋がおろさねえ。黙っていらねえ。

○ソーンガエ コト ユータツテ ダメラ コテ。ダマツテ イランネ ワネ。そんなこと言たって駄目ださ。黙っていられないわね。 / ○ソーンガエ コト ユータツテ ダメラ ゼネ。ダマツテ イランネ ゼネ。そんなこと言たって駄目だぜね。黙っていられないぜね。 / ○ソーンガエ コトバッカ ユータタツテ 下ーラネ ゼネ。ダマツテ イランネ ゼネ。そんなことばかり言たって通らないぜね。黙っていられないぜね。

(36)うそもへちまもありやしねえ。我慢できねえ。

○テンポ アロバ ネ。ソーンガエノバッカ ユータタツテ ダメラ ゼネ。嘘も何もあろうかね。そんなことばかり言たってだめだぜね。

(37)寝言は寝ていえ。このやろう。

○デタラメバッカ ユーテンナ ヤ。コノ ヤロー。出鱈目ばかり言ってるなや。この野郎。 / ○モーソミテンナ コト コイテンナ。コノ ヤロー。寝言みたいなこと言ってるなこの野郎。 / ○モーソ ユーテンナ ヤ。コノ ヤロー。寝言言ってるなや。この野郎。

(38)あたりきしやりきのけつあな。当たり前だ！

○ソーンガエ コト アタリマエラ コトイネ。そんなこと当たり前だよ。

(39)きみょうきてれつだ。それは変だ。

○ソーンガエ コト ホントランロ カー。ソーレワ ヘンダ ゼネ。そんなこと本当なのだろうか。それは変だぜね。 / ○ソーンガエ コト ホントランロ カー。ソーレワ ヘンダ コタエネ。そんなこと本当なのだろうか。それは変だよ。

(40)ほう、それは親孝行なお子さんですね。

○ホー、ソーレワ オヤコーコナ コドモラ ネー。ほう、それは親孝行なお子もだね

え。

／ ○ソーカ ネー。ソレワ オヤコーコナ コドモラ ネー。そうかねえ。それは親孝行な子どもだねえ。

(41) まいったまいった。しかたがない。

○マイッタ マイッタ。ショーガ ネー ネー。まいったまいった。しかたがないねえ。／ ○オラ ドー ショバ 子。コマッテ シモタ ワネ。シカタガ ネ コテヤネ。俺はどうしようよ。困ってしまったわね。しかたがないことよ。／ ○オラ ドー ショバ 子。コマッテ シモタ ワネ。シカタガ ネー ネー。ダメラ ガンダ。俺はどうしようよ。困ってしまったわね。しかたがないねえ。駄目なんだ。

Ⅲ. 他者との関係を立ち上げるために、他者との言語関係を結節する「立ち上げ詞」

(42) もしもし、すみません。役場はどこにありますか。

○モシモシ、モーシワケ ネーロモ ヤクバワ ドッチノ ホーラロー ネー。もしもし、申し訳ないけれども、役場はどっちの方だろうねえ。。

(43) のうのう、旅の人。お立ち寄りください。

○ホーイ ネ。オメーサン。チツバカ ヨッテ イガネ カネ。ほれね。おまえさん。ちょっとばかり寄っていかないかね。

(44) ほら、ご覧なさい。向こうに公園があります。

○ホーイ ネ。ミサセ ヤー。アッチノ ホーニ コーエンガ アン ガネ。ほれね。見なさいやあ。あっちの方に公園があるがね。

(45) やいやい。こんなに朝早くからどこへ行くんだ？

○オヤオヤ。コンーゲ アサ ハヨカラ ドゲ イダン カネー。おやおや。こんな朝早くからどこへ行くのかねえ。／ ○ホーイ ネ。コンーゲ アサ ハヨカラ ドゲ イダン ダネー。ほれね。こんな朝早くからどこへ行くのかねえ。／ ○オーイ。コンーゲ アサ ハヨカラ ドゲ イダン カネー。おうい。こんな朝早くからどこへ行くのかねえ。

(46) よう、兄弟。これから何をするつもりだい？

○オイ。オマエサン。コレカラ ドー スルン ネー。おい。おまえさん。これからどうするんだねえ。／ ○オイ。オマエサン。コレカラ ナニオ シルン ネー。おい。おまえさん。これから何をするんだねえ。

(47) いざ。さらば。

○ソ セバ。サインナラ。それでは。さようなら。／ ○ソー セバ。サインナラ。それでは。さようなら。

(48) ささ、ご遠慮無く、召し上がって下さい。

- ササ、エンリヨ シネデ タベテ クンナセ ヤ。さあさ、遠慮しないで食べてくださいや。 / ○ササ、エンリヨ センデ タベテ クンナセ ヤ。さあさ、遠慮しないで食べてくださいや。
- (49)さて、そろそろ一服しませんか。
○ソー モバ、コンナ トコロデ イツブク シマセン カネ。それでは、こんなところで一服しませんかね。 / ○ソー モバ、ソロット イツブク ショー カネ。それでは、そろそろ一服しようかね。
- (50)これこれ、ちょっと静かにしなさい。
○コラコラ。チートバッカ シズカニ セー ヤ。こらこら。ちょっとばかり静かにろや。
- (51)おい、こら。万引きをしてはいけない。
○オイ、コラ。マンピキ シテワ ダメラ ヲ。おい、こら。万引きしては駄目だぞ。
- (52)おどりゃあ。いい加減にしないか！
○コノ ヤロー。イー カゲンニ シヤガレ。この野郎。いい加減にしやがれ。 / ○コン チクショー。イー カゲンニ シヤガレ。こん畜生。いい加減にしやがれ。
(昔、女性を卑罵的に呼ぶのにズベー、ジャベということばがあった。極めて悪いことばだった。)
- (53)おのれ、裏切りやがったな。
○コノ ヤロー、ウラギリヤガッタ テー。この野郎、裏切りやがったなあ。 / ○ヨーシ、ウラギリヤガッタ テー。ようし、裏切りやがったなあ。
- (54)どっこい。その手には乗らない。
○ソングノ テー ノラン ヲ。ソングエ イラン ゼネ。そんな手に乗らないぞう。そんなもの要らないぜね。 / ○ソングエ コトニ ノラン ヲ。ソングエ イラン ワネ。そんなことに乗らないぞ。そんなもの要らないわね。
- (55)どうだ、参ったか？
○ドーラ、マエッタ カ。どうだ、参ったか。
- (56)せいの、よいしょ！
○セーフ、ヨイショ。ドッコイショ。せえの、よいしょ。どっこいしょ。
- (57)ようい、どん！
○ヨーイ、ドン。ようい、どん。
- (58)いっせいの、で！
○セーフ、ドッコイショ。せえの、どっこいしょ。
- (59)よいしょ、よいしょ、もう一息だ！
○ヨイショ、ヨイショ、ドッコイショ。モー チットバッカダ。よいしょ、よいしょ、どっこいしょ。もうちょっとばかりだ。

(60) うんとしょ、どっこいしょ。もう少しだ。

○ドッコイショ、ドッコイショ。モ― チットバツカダ。どっこいしょ、どっこいしょ。
もうちょっとばかりだ。

(61) わっしょい、わっしょい、祭りだ、わっしょい。

○ワッショイ、ワッショイ。マツリダ、ワッショイ。ヨイショ、ヨイショ。わっしょい、
わっしょい。祭りだ、わっしょい。よいしょ。よいしょ。

(62) はじめはぐう、じゃんけん、ぼん！あいこでしょ。

○ヤーセーセー。アイコデ ショー。やあせえせえ。あいこでしょう。〈我々の時代の
言い方〉 / ○サイショワ ガー。ジャンケンポン。アイコデ ショー。最初はぐ
う。じゃんけん、ぼん。あいこでしょう。〈若い者達〉

(63) きをつけえ、まえへならえ、なおい。

○キオ ツケー。マエー ナラエ。ナオレ。きをつけえ。前へ倣え。直れ。

(64) きりつ、れい、ちゃくせき。

○キリツ。レイ。チャクセキ。起立。礼。着席。

(65) ばんざい、ばんざい。やった、やった！

○バンザーエ。バンザーエ。ヤッタ、 ヤッター。万歳。万歳。やった、やったあ。

(66) えいえいおう。頑張るぞ。

○エイ、エイ、オー。ガンバル ソー。えい、えい、おう。頑張るぞう。

(67) 中村君の誕生日を祝して、かんぱい。おめでとう。

○ナカムラクンノ タンジョーピオ シュクシテ、カンパーイ。オメデトー。中村君の
誕生日を祝して、かんぱあい。おめでとう。

(68) やっほう、やっほう。

○ヤッホー、 ヤッホー。やっほう、やっほう。

(69) ふれえ、ふれえ、白組。

○フレーツ、フレーツ。シログミ。ふれえ、ふれえ。白組。

(70) おにはそと、ふくはうち。

○フクワー ウチ。オニワー ソト。福はあ内。鬼はあ外。

(71) べらぼうめ、とんでも無い子だ。

○バツカエヤロー。ワーリ ヤロラ ワイ。馬鹿野郎。悪い野郎だわい。

(72) それみたことか、わんぱく坊主。

○ホラー ミレー。コノ ヤロー。ほらあ見ろう。この野郎。 / ○ホラー ミヤガ
レ。コノ ヤロー。ほらあ見やがれえ。この野郎。

(73) ざまあ、みろ。いい気味だ。

○ザマ ミヤガレ。バチガ アタッタ ワヤ。ざま、見やがれ。罰が当たったわや。

(74) ちくしょうめ、ひどいことを言いやがる。

- コン チキショー。マー、ロクナ コト イワネー。こん畜生。まあ、ろくなこと
言わない。 / ○コン チキショー。マー、ロクナ コト イヤガラネー。こん
畜生。まあ、ろくなこと言いやがらない。
- (75)このやろう。どうしてくれようか。
○コノ ヤロー。ドー シヨバ チ。この野郎。どうしてくれようかな。 / ○コン
チクショー。ドー シテ クロー カー。こん畜生。どうしてくれようか。
- (76)たわけ、ふざけた事を言うんじゃない。
○バーカヤロー。フーザケタ コト イヤガナ。馬鹿野郎。ふざけたこと言いやがる
な。 / ○バーカヤロー。フーザケタ コト ユーナ。馬鹿野郎。ふざけたこと言
うな。
- (77)ばかやろう、いい加減なことを言うな。
○バカヤロー。ロクデモ ネー コト ユーナ。馬鹿野郎。ろくでもないことを言うな。
 / ○バカヤロー。バカミタエナ コト ユーテンナ。馬鹿野郎。馬鹿みたいなことを
言ってるな。
- (78)あなかま、静かにしなさい。
○コラー、ヤカマシー。シズカニ シヤガレー。こらあ、やかましい。静かにしや
がれ。 / ○ウラセー。シズカニ セー。うるせえ。静かにしろ。
- (79)しいいっ、静かにして！
○シーツ。シズカニ セー。しいいっ。静かにしろ。
- (80)ちちんぷいぷい、蛙、蛙、生き返れ。
○チンマンダブ、チンマイダ。ガエール、ガエール。イキカエレ。南無阿弥陀仏、南無
阿弥陀仏。蛙、蛙。生き返れ。
- (81)あっかんべい、鬼さん、こちら。
○アカンベ。オニサン コチラ。テノ ナル ホー エ。あかんべ。鬼さんこちら。手
の鳴る方へ。(アカンベはあまり使わない。)
- (82)あっぱれ、お見事。立派です。
○サースガ、タイシタモンダ。イー コト シタ ネー。さあすが、大したもんだ。良
いことしたねえ。 / ○サースガ、タイシタモンダ。イー コト シタ ワネー。
さあすが、大したもんだ。良いことしたわねえ。 / ○サースガ、タイシタモンダ。
ガツトニ イー コト シタ ネー。さあすが、大したもんだ。非常に良いことした
ねえ。
- (83)でかした、でかした。日本一。
○ヤツア、ヤツター。ニホンイチ。やった、やったあ。日本一。
- (84)しっけい！すみません。
○カンベ ネー。ワーリカッタ ネー。勘弁ねえ。悪かったねえ。 / ○カンベ シ

ンナセヤ。勘弁しなさいや。

(85)あばよ、達者でな。

○マータナー。サインナラー。またな。さようならあ。

Ⅲ. 総括 (まとめ)

①当方言の立ち上げ詞として、特色的な単純感嘆詞的なものは、次のようなものである。

ヤイーヤ (いや全く)、アイーヤ (あれえ)、オココ (おやまあ)、ホーイ ネ (ねえねえ、もしもし)、ハイ ネ (いいえ)、ヤー セー セー (じゃんけんぽん)

②当方言の立ち上げ詞中、単純感嘆詞的なもので、共通語のそれとほぼ一致しながら微妙に異なるものがある。例えば次のようである。

よいこらしょ (ヨッコラシヨ)、よっしゃ・よしきた (ヨーシ)、いえいえ (イヤイヤ)、なにさ (ナーンダ)、ほほう (ホー)、これこれ (コラコラ)、いやはや (イヤイヤ)、いっせいの (セーノ)、へん (フン)、

③立ち上げ詞としてのその他の感嘆詞は、おおむね共通語と共通する。例えば次のようである。

ヨイシヨ ヨイシヨ、ヨッコラシヨ、ドッコイシヨ、セーノ、ワッショイ ワッショイ、オヤ オヤ、ヤッホー ヤッホー、エイ エイ オー、フレー フレー、バンザーイ バンザーイ、シーツ、アカンペー、チェツ、オイ、コラ、モシ モシ、ハイ、ササ

④立ち上げ詞は、当方言の場合、単純感嘆詞としてよりも主に文的なものによっている。例えば次のようである。

えへん えへん (ドーラ ドーラ <どうだ どうだ>)、あっぱれ (サースガ、タイシタ モンダ)、しめしめ (アー ヨカッタ ワエ)、さて・いざ (ソ ーセバ <そうすれば>)、あなかま (ヤカマシー、ウルセー)、ほいきた (ヨシキタ)、がってんだ (ソーラ ネー <そうだねえ>)

⑤当方言らしい発想に基づく言い方がある。例えば次のようである。

すみません (ワーリカッタ、モーシワケネ、カンベ <勘弁>)、ちちんぶいぶい (ナンマンダブ ナンマイダ <南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏>)、承知いたしました・宜しゅうございます (ヒキウケタ ワネー・イー ゼネ)、簡単だ・お安いで用だ (ジョーサモ ネー <雑作もない>)、いいえ (ハイ ネ)、つまらない (オモッショ ネー <面白くない>)、とんでもございません (ソング コト イワンデ クンナセ ヤ <そんなこと言わないでくださいや>)、そうは問屋がおろさねえ (ソングエ コト ユータッテ トーラネ ゼネ)、もう一息だ (モー チットバッカダ)、いい気味だ (バチガアタッタ ワヤ)

(おおはしかつお 新潟大学名誉教授)